

地域づくりレポーター < 05 - 4 ~ 5月度レポート >

テーマ：防災 (河川 道路 ダム 港湾)」に関する意見

報告者：黒沼貞志

今回の指定テーマは上記のようになっておりますが、港湾が入っている点、及び、「その他」の選択肢がありますので、我儘をお許し載せて前回の小職レポート<「港湾<酒田港長期構想(中間報告)」に関する意見>の続編とさせて戴きます。

その理由は、小職の前回のレポートに対して貴酒田港湾事務所梅沢所長殿よりご回答を頂戴したためです。

そのご回答に対する返信という形式にてのレポートとさせて戴きます。

わざわざの所長自らのご回答(返事)深謝申し上げます。

私たち地域づくりレポーターが提出するレポートの取扱いは「貴省の判断」となっており、年度単位にまとめて可能な部分についての回答を載せております(昨年度から?)。

今回は直接のご回答を戴きましたので本レポートの中でのご返事とさせて戴きました。

1. 全般

所長からご回答戴いた内容は小職の些末なレポート(意見)を当該検討委員会にお伝え戴き、そのご返事を所長が整理されて纏めて戴いたとの理解で宜しいのでしょうか(小職の些末な参考データや意見に対して若干総論的ご回答になっておりましたので…)?

2. RE 年次目標について

30年の長期構想ですから3ステップに分けられこと理解できます。ただ、小職がコメント致しました「昨今のインフラ計画に関する見直しの社会の動向を考えた場合、せめて5 or 10年単位のインターバルのマイルストーンを含んで、且つ、その節目に見直しを必須条件としその見直し要領まで盛込んだ構想計画が必須とっております」に対しては触れられておられませんのが残念なところです。

ご意見をお伺いしたいところです。

3. RE 酒田港を取巻く(将来の環境について)

人口増加の影響を含めた「地球温暖化対策」としてのリサイクルといった観点での検討を進めておられるとのことですので、可能な範囲にて結構ですので、期待する検討成果やそのスケジュールを提供戴けますと有り難いです。

4. RE 物流検討部会

ご回答の例にありますように「EU」ではご指摘の通りかもしれません。

しかし、周りが全て海という日本の状況(環境と、周りが殆ど地続きという「EU」のその差異が自明ですので、同じ土俵で論じることは少々無理があるように思われますが如何でしょうか?

その様な大きな差異をどのように検討されておられるか可能な範囲で具体的にお伺いできれば幸いです。

5. RE :リサイクル検討部会

ご紹介しました「エコ・ミックス」構想の中の

~~~~~

・二次加工レベル (廃油のBDF化、バイオマスのBSF化 (発電所の燃料)・・・)

・三次加工レベル (バイオマスのエタノール化 (化学・電気・電子・半導体メーカーの原料)・・・)

\* 活用対象資源の量 (例えば山形県内年間未利用バイオマス = 52万トン/年 :17ページに記載されている数値)に固定されない発想に立てると上記「エコ・ミックス」構想などに展開できるのではないのでしょうか？

~~~~~

につきましては、特に、バイオマスエタノール (& バイオマススラリー・フューエル)にて「山形県商工労働観光部産業政策課産業集積促進室殿」「県省内総合支庁産業経済部殿」「酒田市商工観光部殿」と数年前からのお付き合いの中で連携協力、即ち、技術のプレゼンや日本初の実証プラント(NEDOの補助事業)の紹介や現地視察の橋渡しなどをさせて頂いております (ご参考まで)。

以上